

今日の1冊

【内容】

どんな物でも仕組みを見抜くことができた平賀源内。だが長崎出島で出会ったへしびれる箱だけは仕組みを解明できなかった。試行錯誤の末、その謎を解き明かすことができたが…。平賀源内の熱情と格闘の人生を描く歴史小説。

エレキテルの謎を解け

電気を発見した技術者平賀源内

鳴海風 著, 高山 ケンタ 画



【著者紹介】

鳴海風（なるみ・ふう）

一九五三年新潟県生まれ。東北大学大学院機械工学専攻修了。博士（経営情報科学）、MBA（経営学修士）。二〇〇六年日本数学会出版賞、『円周率を計算した男』で歴史文学賞受賞。

高山ケンタ（たかやま・けんた）

一九六八年愛媛県生まれ。広告代理店でグラフィックデザイナーを経験した後、画家となる。またイラストレーター、デザイナーとして多くの挿し絵、デザイン、装丁などを手がける。著書に画文集『さよなら少年ブルー』、挿し絵作品に『星空に魅せられた男 間重富』がある。